

国の調査によれば限界集落はこの4年間で6千ほど増え、昨年は2万349に達したという。東京一極集中是正、地方創生を打ち出している国の政策は全く効果が出していない。

東京に人が集まるのは、やはりさまざまな面で「便利」ということに尽きる。企業も集中しているので仕事を探すのに

便利税？創設



草野 義輔

した時期には都合8回文部科学省に足を運んだものだ。申請の最終月はほぼ毎週上京し、締め切り直前何とか受理してもらえた。出張費は当然それなりの額に上る。中央省庁は東京に居座っているので許認可を受けるには何度も上京が必要だ。地方への権限移譲はごく一部。今は過密でコロナ対策に難儀している東京ではあっても東京は便利なのだ。

そこで「便利税」なる

ものを創設してはいかがだろうか。国立の施設の数に合わせて仮に1施設

1人10円/月とすれば国立大だけでも東京は11あるので110円。大分県は10円。税収は当然不便な地方に配分する。財源を求める財務省はいざ知らず、こんな提案は人口の多い都市部の反対で実現は厳しいだろう。

以前、看護師養成課程開設の準備を

(昭和学園高校理事長・日田市)